



新年のごあいさつ

埼玉県生協ネットワーク協議会

会長 滝澤 玲子

新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、埼玉県生活協同組合連合会、各会員生協の皆様にご協力とご支援をいただき、ありがとうございました。あらためて御礼申し上げます。

2010年の年頭では、単協の枠をこえて、ネットワーク協議会がめざすもの、県内生協組合員の力量強化と連帯が確実に実ってきているように思います、とあいさつをさせていただきました。本年は、私たちのテーマ「ひろく地域のなかでつながりあうために」を、さらに発展させることができるよう、会員生協の活動につながるができるかを課題として進めてきました。

第4回協議会では、会員生協で取り組まれている地域福祉、様々な活動を紹介しあい、組合員としてできることを交流いたしました。生協により仕組み、呼び方などの違いはありますが、思いは同じであり、もっと生協を知っていただき、地域に必要な発想と支援、新しい福祉の担い手になっていくために、活発に話し合うことができました。

食の分野では、世界の食卓からみた日本の食（全体会のスキルアップ応援講座）、米粉学習（関東農政局職員）、米粉調理講習（講師は協議会委員）、県内水道の学習（県政出前講座）、JA全農精米センター・ライスランド21の見学と学習をし、会員生協に委員のみなさんから広めていただいています。

今後は16回目を迎えるJA埼玉県女性協議会との交流会、埼玉県消費生活協同組合役職員研修委託事業の公開学習会を計画しています。地域福祉については継続して話し合いをしていきます。また、国、県行政等の審議会、協議会に消費者として参画し協議、提言を強め、相互間の協力もすすめてまいります。

一市民とは、自分のまわりの世界がどう組織されるかは自分の行動にかかっていると、おりにふれて自らに言いきかせる人間である。受け身の姿勢では市民としての立場を失うことになるーカレル・ヴァン・ウォルフレン。組織や仕組みをつくっても、そこに願い、思い、人と人との結びつきがなければと思います。ネットワーク協議会の場がその一助になりますように、本年も多くのご協力とご支援をお願い申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。